

CASBEE[®] あいち

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)CPD一宮新築工事 倉庫棟	階数	地上5階
建設地	愛知県一宮市大和町南高井字江南5番1他71筆	構造	RC造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	668 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工時期	2026年02月28日 予定	評価の実施日	2024年04月08日
敷地面積	40,461 m ²	作成者	井上 匡代
建築面積	20,010 m ²	確認日	2024年04月25日
延床面積	94,346 m ²	確認者	三品 貴仙



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (92 kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 75% (46 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 75%

④ 上記+: 75%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性: N.A., 耐用性: 2.9, 対応性: 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

水資源: 3.4, 非再生材料の使用削減: 4.0, 汚染物質回避: 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化への配慮: 4.0, 地域環境への配慮: 2.8, 周辺環境への配慮: 3.1

3 重点項目

① 地球温暖化への配慮

4.0

③ 敷地内の緑化

2.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積): 20.5 %

建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積): 0.0 %

② 資源の有効活用

3.3

④ 地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料>: なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材>: なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

① 地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ② 資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③ 敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 (仮称)CPD一宮新築工事 倉庫棟

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						住居・宿泊部分		全体
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数		
		Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境											-	
1 音環境											-	
1.1 室内騒音レベル				3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 遮音				-	-	-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能				-	-	-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能				-	-	-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-	-	-	-		
1.3 吸音				-	-	-	-	-	-	-		
2 温熱環境											-	
2.1 室温制御				-	-	-	-	-	-	-		
1 室温				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 外皮性能				3.0	-	-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	-	-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	-	-	-	-	-	-		
2.3 空調方式				3.0	-	-	-	-	-	-		
3 光・視環境											-	
3.1 昼光利用				-	-	-	-	-	-	-		
1 昼光率				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	-	-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策				-	-	-	-	-	-	-		
1 昼光制御				5.0	-	-	-	-	-	-		
3.3 照度				3.0	-	-	-	-	-	-		
3.4 照明制御				3.0	-	-	-	-	-	-		
4 空気質環境											-	
4.1 発生源対策				-	-	-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質				3.0	-	-	-	-	-	-		
4.2 換気				-	-	-	-	-	-	-		
1 換気量				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 自然換気性能				3.0	-	-	-	3.0	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	-	-	-	-	-	-		
4.3 運用管理				-	-	-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御				3.0	-	-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能											3.1	
1 機能性											-	
1.1 機能性・使いやすさ				-	-	-	0.43	-	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-	-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画	独自			3.0	-	-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性				-	-	-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観 (天井高)				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース				3.0	-	-	-	-	-	-		
3 内装計画				3.0	-	-	-	-	-	-		
1.3 維持管理				-	-	-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	-	-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性											2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				0.6	2.9	0.52	-	-	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				0.4	3.0	0.48	-	-	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	3.0	0.80	-	-	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				0.3	3.0	0.33	-	-	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				-	3.0	0.23	-	-	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	②			-	3.0	0.23	-	-	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				-	3.0	0.09	-	-	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				-	3.0	0.08	-	-	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	3.0	0.15	-	-	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				-	3.0	0.23	-	-	-	-		
2.4 信頼性				0.1	2.6	0.19	-	-	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
2 給排水・衛生設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-	-		
3 電気設備				3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
4 機械・配管支持方法	②			3.0	3.0	0.20	-	-	-	-		
5 通信・情報設備				3.0	2.0	0.20	-	-	-	-		

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいも版手引き

(仮称)CPD一宮新築工事 倉庫棟

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				4.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.0	0.10	
② 資源の有効活用				3.3
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	4.0	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:20.5%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$

重点項目スコア=

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 (仮称)CPD一宮新築工事 倉庫棟

計画上の配慮事項	
総合	ライフサイクルCO2排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。
Q1 室内環境	評価対象外。
Q2 サービス性能	階高: 3.9m以上
Q3 室外環境(敷地内)	建物高さ、壁面位置、外装・屋根・庇・開口部・塀等の形状や色彩において、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	BPI _m = 0.71 BEI _m = 0.43
LR2 資源・マテリアル	節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 基礎・基礎梁: 高炉セメント(B種)を使用している。 LGSを使用している。 ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を使用している。
LR3 敷地外環境	ライフサイクルCO2排出率75%。 燃焼機器を使用していない。
その他	特になし。